

NEXT
55



みんなの力で、みんなの幸せを
SAWARABI

さわらび

1 **表紙** 交流イベント「みんなでアートを楽しもう!!」
～明日香・しろがね・すみれ・あかね荘・珠藻荘・福祉村保育園・第二さわらび荘～

2 **医学講話** アルツハイマー型認知症の新たな治療選択
◆福祉村病院 外来診療部長／日本神経学会専門医
日本内科学会認定医／日本認知症学会専門医
認知症サポート医／愛知県公安委員会認知症認定医 **継 泰城**

6 **特集** さわらび会63年のあゆみ

2025 **8**
vol.628



医学講話

福祉村病院 外来診療部長 / 日本神経学会専門医
日本内科学会認定医 / 日本認知症学会専門医
認知症サポート医 / 愛知県公安委員会認知症認定医

継 泰 城



アルツハイマー型認知症の新たな治療選択

はじめに

アルツハイマー型認知症の薬物治療には現在2つの治療があります。1つは従来からある症状改善薬（コリンエステラーゼ阻害薬など）です。脳の神経細胞が徐々に壊れて行くのを止めることはできませんが、残った神経細胞に働きかけて脳を活性化し、記憶や判断力などの認知機能を改善させることができます。ただ、脳の病変の進行を止めてはいけません。もう1つは、昨年から使えるようになった疾患修飾薬（抗アミロイドβ抗体薬）です。脳の中に沈着して神経細胞を壊しているアミロイドと言う蛋白を除くことで神経が壊れるのを防ぎ、認知症自体の進行を遅らせます。認知機能の悪化を緩やかにしますが、症状を良くするわけではありません。

2つの治療薬の効果

2つの治療薬は治験において、それぞれ単独で効果が認められています。症状改善薬であるドネペジル塩酸塩は認知機能を改善させることができま

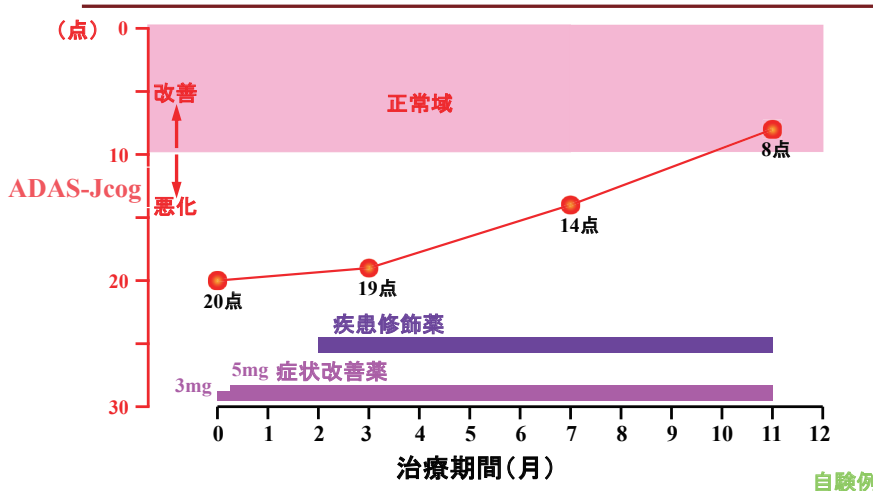
す。ただ、9カ月で認知機能は再び最初の状態に戻り、1年経つと最初よりは少し悪くなります。疾患修飾薬は認知機能障害の進行を1年半で6カ月遅らせ、3年経つと1年遅らせることができます。そこで、この2つの治療を併用すれば、長期にわたり認知症の進行を抑え、認知機能を長く改善させることが期待されます。ただ、この2つの治療を多数例で長期間併用した試験はまだありません。今回、2つの治療を併用し、とても良い結果が得られたのでお示し致します。

著明な改善が認められた認知症

75歳女性のアルツハイマー型認知症の方で、夫と2人暮らしです(図1)。2年前から物忘れが多くなる。電話を切った直後に何の電話だったか分からない。カレンダーに予定を書いても何度も確認する。1つのことをしている途中で別のことをすると、どちらでもできなくなる。夫が少し注意をすると怒るようになる。日付や曜日を忘れる。物の置忘れがある。外出が億劫になる。非同居の娘がおかしいことに気づき、物忘れ外来を受診。認知機能は、HDS-R 25

図1 認知機能の著明な改善を認めた症例

アルツハイマー型認知症 75歳女性



軽度の改善が認められた認知症

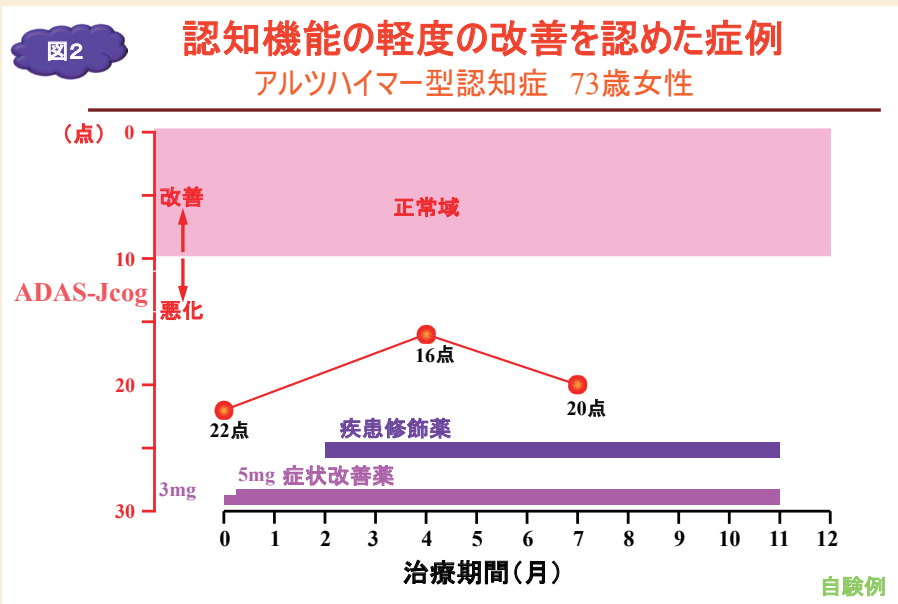
73歳女性のアルツハイマー型認知症の方で、夫と息子の3人暮らしです(図2)。2年前から記憶力が落ち、約束を忘れる。同じことを何度も言う。鍵を無くし、無くなると盗られたと言う(物盗られ妄想)。料理が単調になり、よく同じものが出る。日付や曜日の忘れがある。外にあまり出なくなる。夫がおかしいのに気づき、物忘れ外来を受診。HDS-R 17点、ADAS-Jcog 22点と軽度の認知機能低下を認めます。脳MRIでは、大脳の萎縮があり、海馬傍回の萎縮は有意ではありません(VSRAD Z=1.65・燃燐V=2)。脳の中にアミロイドが溜まっているのを画像で見ることができ、アミロイドPET検査を行うと、多くの大脳皮質にアミロイドが沈着しているのが見られました。ただ、その沈着量(CI-scale)は444(陽性IV40)とそれほど多くはありません。症状改善薬(ドネペジル塩酸塩)と共に、疾患修飾薬を開始しました。11ヶ月経過し、認知機能はADAS-Jcog 8点と正常域まで著明に改善しました。「家族も「前のように怒ることが無くなった。困ることもなく」と言われます。アルツハイマー型認知症において、症状改善薬のみでこれほど改善した経験はこれまでになく、2つの治療を併用した結果と思われれます。

改善度が違う理由

この2つの症例は、認知機能の改善度が明らかに異なり、前者の方がかなり良くなっています。その要因の1つは脳に溜まっているアミロイドの沈着量が異なります。後者に比べ、前者の方は沈着量が非常に少ないのです。そのため、抗アミロイドβ抗体薬によりアミロイドが速く除去され、神経細胞が壊れるのが少なくなり、症状改善薬により脳が働き認知機能が非常に良くなった可能性が考えられます。そうであれば、同じ軽度の認知症でもできるだけ早期の状態での治療の方が良いと思われれます。そうすればかなりの改善が期待できると考えます。認知症があつても天寿を全うする時代も夢でなくなります。

おわりに

一般的に、認知症の症状よりも認知機能検査の方が認知症の進行を早く指摘できます。症状自体がひどくなつてから受診しようとする、中程度に進行していることが多く、治療が遅れてしまします。少しでも認知症を疑う症状がある場合は早めに受診し、詳細な認知機能検査をすることが大事です。そのためには、できるだけ早く認知症専門医療機関を受診されることをお勧めします。ご家族の方から、健康診断として本人に受診を勧めてください。



福祉村病院神経病理研究所 副所長
神経学会指導医・認知症学会指導医
プライマケア学会指導医

金田 大太

認知症リハビリが効果的で、施設入所中も学習療法を継続し、進行が緩やかになった94歳男性

◆症例

妻死去後独居だった。

81歳 家族が旅行に富士山に連れて行ったとき、五合目休憩所で行方不明となった。搜索したところ豊橋の自宅に自分で帰宅しており「添乗員が勝手に帰っていいと言った。勝手に帰っていいとは何事だ」と立腹しており、「妻がいなくなった」と言っていた。その後も生活は自立していた。

85歳 近所の方から車の運転が怪しいと息子に連絡あり、免許を返納した。2014年9月膀胱癌

が判明、動注化学療法＋手術となったが手術当日に病院内を徘徊、非常階段に出て院内に戻れず、騒ぎになった。放射線治療のちも安静を守れずうついてしまう。せん妄がひどい。「認知症の始まりですね」と指摘されたが、退院後はしっかりした。

86歳 転倒し、L3腰椎を骨折。弥生

病院に入院、介護申請・自宅に手すりを付けた。その後生活は自立し、近所のボランティア活動には参加していた。

88歳 大腸癌手術、術後せん妄が激

しく4月26日退院。転倒し仙骨骨折、福祉村病院に転院。入院中に幻視を伴うせん妄、妄想、興奮、不安、易怒性など認められた。長谷川式スケール5 MMSE18 認知症リハビリで易怒性などは落ち着いた。施設入

所後、くもん学習療法に参加。新聞も読む。

92歳 携帯電話の扱いができない。

93歳 息子が誰かがわからなくなっ

ていた。難聴もありコミュニケーションが難しい。長谷川式スケール6点

94歳 転倒し大腿骨骨折で車いす生

活になる。心不全にて死亡。以前より本人から献体の希望があり剖検となる。

◆神経病理所見

脳重 1,341g

#アルツハイマー型変化

老人斑CERAD C Thal 4

神経原線維型変化 Braak 5

側頭葉の広がりと比較し、頭頂葉・

前頭葉のタウ構造物は少ない

その他の変化は極めて軽度で嗅球のLewy小体型変化が軽度、その他の嗜銀顆粒性変化やLATE-NC認めない。広くアミロイドアンギオパチーは認められるが同部位の小血管の変性は軽度。

◆考察

緩やかな進行から、アルツハイマー型認知症以外の疾患も生前は考えられました。純粋なアルツハイマー病であり、記憶障害発症後もボランティア活動など社会性を保ち、入院後も学習療法などを継続したことが、経過年数と比較して進行が抑えられた原因と考えられ、我々の活動を勇気づけてくれる貴重な篤志をいただきました。



各包括支援センターの茶話会に 認知症初期集中支援チームが参加



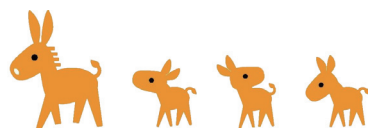
豊橋市の認知症初期集中支援チーム(通称 はつらつチーム)は、2017年から福祉村病院が委託を受け活動しています。介入依頼の多い各地域包括支援センターや居宅支援事業所のケアマネジャーの方へ、茶話会を通じて、はつらつチームの活動を紹介しています。その場では皆さんからご意見やご質問を多数いただき、意見交換をすることができました。

今後も、認知症があっても住み慣れた環境でその方らしく生活していけるよう活動していきます。 (五明)

認知症初期集中支援チームとは

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的(おおむね6ヶ月)に行い、自立生活のサポートを行うチームです。チームは全国のすべての自治体に配置されています。豊橋市の特徴は、対象となる方に年齢制限がないこと、認知症領域と精神科領域で1名ずつのサポート医が配置されていることです。

相談されたい方は
各地域包括支援センターに
ご連絡ください。



ロバ隊長(認知症サポーターキャラバン マスコット)

特集

さわらび会六十二年のあゆみ

さわらび会では、「みんなの力で、みんなの幸せを」をモットーにこれまでいろいろな活動や支援に取り組んでまいりました。

昭和から令和まで連綿と続く、さわらび会63年の歴史をご紹介します。



1962年8月
山本病院 開業



1971年2月
介護婦会 発足

- 1962.8. 山本病院創立
- 1967.6. 職員寮新設
- 1971.2. 介護婦会発足
- 1973.5. 機関誌早蕨発刊
9. 老人大学開校(後のさわらび大学)
- 認知症介護の三原則提唱
- 1974.2. 老後保障推進協議会発足
6. 朝の言葉開始
8. 家族会発足
- 1975.4. 福祉基金委員会設立
- 痴呆療法士配置
- 1976.5. 社会福祉法人認可
- 1977.4. 特別養護老人ホームさわらび荘開設
6. ライオンスクラブ加入
給食サービス
- 1978.10. 福祉村許可
- 1980.1. ボケ110番開設
2. 医療法人認可
4. 身体障害者療護施設珠藻荘開設
- 1981.4. ユーカリカルチャーセンター開設
10. 軽費老人ホーム(A型)若菜荘開設
- 1982.3. 福祉村病院開院
4. 精神薄弱者更生施設あかね荘開設
- 「老人ボケは治る」出版
11. 第二回さわらび文化祭
- 1983.4. 精神薄弱者授産施設明日香開設
5. サービスセンター開設
- 1984.8. 福祉村病院第2病棟完成
- 漢方研究
- 愛知県痴呆性老人介護技術研修
- 山本理事長名大医学部講師に就任
- 1985.3. 「老人ボケのリハビリと看護」出版
- 1986.2. クリーニングセンター開設
- 保育室開設
- 1987.4. あかね荘増設
8. 早蕨山瑞恵寺入仏式
9. 職員宿舎レジデンスなかも完成



2001年11月
福祉村サミット開催



1993年5月
長寿医学研究所発足



2006年4月
老人大学を
さわらび大学に名称変更



2001年8月
第二回夏休み親子福祉体験講座

- 1988.1. 福祉村公園完成
- 11. 福祉村簡易郵便局開局
- 1989.7. パターゴルフ場完成
- 1990.9. 老人保健施設ジューゲム開設
- 10. 福祉村ミニ動物園開園
- 1991.4. 明日香増設
生きがい研究
- 1992.2. デイサービスセンターさわらび開設
- 4. 知的障害者グループホームさわらびホーム開設
- 8. さわらび不老会
- 11. 山本孝之理事長市勢功
労賞を受賞
- 1993.1. 福祉村在宅介護支援センター開設
- 5. 長寿医学研究所開設
- 11. 福祉村キャラバン隊
- 1994.1. 老年医学会認定施設
- 6. ブレインバンク設置
- 1996.4. 障害者デイサービスセンターしろがね開設
- 1997.4. さわらび在宅介護支援センター開設
- 福祉用具の開発
- 1998.2. ホームヘルパー養成研修事業開始
- 1999.3. グループホーム榛原開設
- 11. インド福祉村病院開院
- 4. 知的障害者授産施設 明
- 1988.1. 日香へ名称変更
- 知的障害者更生施設あかね荘へ名称変更
- 2000.4. 福祉村指定居宅介護支援事業所開設
- 2001.4. 山本病院が福祉村さくら通り病棟に移転
- 8. 第一回 夏休み親子福祉体験講座
- 11. 福祉村サミット開催
- 2003.4. 福祉コンビニ開設(東雲町)
- 11. 特別養護老人ホーム第二さわらび荘開設
- 12. ケアハウスカサデローザ開設
- 2004.4. 第二福祉コンビニ弥生開設
- 5. 福祉村保育園開設
ブックススタート開始
- 7. 夏期学童保育開始
- 10. 長寿医学研究所が科学研究費補助金取扱規程の指定機関となる
- 2005.4. 福祉村ミニ動物園跡地に果樹園開園
- 5. 福祉村サービスセンター増築、改装
- 7. さわらび会障害者居宅介護事業所田原開設
- 11. 第2病棟ハーバード浴室完成
- 2006.4. 老人大学をさわらび大学に名称変更

2010年1月
EPA介護福祉士候補生
受け入れ



2014年4月
福祉村病院
認知症予防脳ドック開始



2010年4月
神経病理研究所開設



2018年5月
インド福祉村派遣ボランティア



- 田原市障害者生活支援センター開設
- 10. 福祉村障害福祉サービス事業所しらがねへ名称変更
- 2007.5. 医療ケアホーム開設
- 7. 地域活動支援センター「なのはな」開設
- 10. 障害者支援施設珠藻荘へ名称変更
- 2008.4. 障害福祉サービス事業所 明日香へ名称変更
- 10. 障害者支援施設あかね荘へ名称変更
- 2009.3. グループホーム白珠開設
- 2010.1. EPA介護福祉士候補生受け入れ
- 4. 神経病理研究所開設
- 2011.3. 地域密着型サービス事業所常盤開設
- 2012.3. 障害者支援施設珠藻荘移転改築
- 5. 地域密着型サービス事業所カサデヴェルデ開設
特別養護老人ホームカサブランカ開設
認知症リハビリプロジェクト開始
- 2013.3. シヤトーローズ八町開設
- 5. デイサービスセンター八町開設
- 山本ゆかり専務理事全国老人福祉施設協議会副会長就任
- 2014.4. 特別養護老人ホーム天伯開設
- 介護支援なんでも相談所「ポピー」オープン
- 「TeTe」オープン
- 福祉村病院認知症予防脳ドック開始
- 福祉村病院外来二診制開始
- 5. オレンジカフェ「シヤトーローズ」オープン
- 福祉村病院 東芝社製16列マルチスライスCT導入
- 6. 有料老人ホームフェリス福祉村開設
- 8. 愛は地球を救う 24時間テレビに参加
- 11. 福祉村文化祭子供福祉サミット開催
- 2015.1. 福祉村病院 病院機能評価認定
- 4. オレンジカフェ「ときわ」オープン
- オレンジカフェ「白珠」オープン
- 5. さわらびグループCM放送開始
- 10. オレンジカフェ「カサデヴェルデ」オープン
- 12. EPA看護師候補生受け入れ
- 2016.5. 熊本地震介護支援隊派遣
- 8. 訪問看護ステーションさわらび開設
- 11. 第16回 全国福祉村サミット



2025年3月
小麦の奴隷アールスペース



2021年10月
福祉村病院歯科再開



2025年7月
福祉村太陽光発電所開所



2024年6月
山本ゆかり専務理事
社会福祉功労にて瑞宝双光章

- ト(2035年に向けて、福祉の未来を考える)青パト(自主防犯パトロール活動)開始
- 2017.2. ヴィーガンクッキー「Fukushimura Cookies」生産開始
3. 自然栽培農法開始
5. 瑞宝小綬章 受章 理事長 山本孝之
6. にぎらかな寿司開発開始
8. 「辛せに死ぬ義務がある」出版
- ヴィーガンクッキー「Fukushimura Cookies」が「felico」に名称変更
- 2018.1. 「felico」オンラインショップ開設
3. グループホームフジ開設
4. オレンジカフェ「天伯」オープン
5. インド福祉村派遣ボランティア
6. 子ども食堂「ふえりこ」開始
8. グループホーム「フジ」ちくちくハンド」開始
- 2019.1. 常盤「みんなの広場」開始
- 2020.4. 福祉村病院介護医療院開設
6. 特定技能制度外国人受け入れ
7. 訪問看護ステーションさわらび住所地移設
8. 福祉村病院1病棟1階を地域包括ケア病棟へ変更
第17回夏休み親子福祉体
- ト(2035年に向けて、福祉の未来を考える)青パト(自主防犯パトロール活動)開始
9. 常盤「みんなの伝言板」開始
11. のびるんdeスクール開始
- 2021.4. 常盤「青空ひろば」開始
5. 新型コロナウィルスワクチン高齢者接種開始
- 障害福祉サービス事業所 すみれ・共同生活援助事業所 すみれホーム開設
6. 新型コロナウィルスワクチン集団接種開始
10. 福祉村病院歯科再開
- 2022.8. さわらび会60周年記念式典
- 2023.3. パン屋「小麦の奴隷 豊橋 野依町店」オープン
7. 福祉村マルシェ開催
8. 第20回夏休み親子福祉体 験講座開催
10. 第42回さわらび文化祭開催
12. 医療法人 社会福祉法人 さわらび会第12回研究発表会開催
- 2024.2.3. 能登半島地震愛知県災害派遣福祉チーム(愛知DCAT)派遣
5. 山本ゆかり専務理事 社会福祉功労にて瑞宝双光章受章
- 2025.3. 小麦の奴隷アールスペース
7. 福祉村太陽光発電所開所

障害特性を学ぶ

～軽費老人ホーム 若菜荘～

6月19日若菜荘食堂にて、職員8名が参加して、障害特性の理解を学びました。4月に3名の新入職員を迎えたこともあり、今回は『および総合相談支援センター ほととぴあ』の間木相談支援専門員を迎え、本格的な研修となりました。

若菜荘ですが、最近は障害をお持ちの方の入所が徐々に増えてきています。一言に障害と言っても知的障害、発達障害、身体障害や精神障害などがあり、見た目ではわからない場合や、認定を受けていない場合もあり、対応には注意が必要です。それぞれの障害特性を理解し、適切な声掛けと対応で、日々ストレス無く過ごしていただけるよう、今後も理解を深めていきたいと思います。

(山下)

牛川小学校との交流

～特別養護老人ホーム さわらび荘～

6月23日、牛川小学校6年生の生徒さん104名がさわらび荘に来られました。コロナ禍で中止をしていた交流ですが、昨年から再開し、今年も元気な生徒さんとの交流ができました。

最初の訪問は、さわらび荘の概要や入居をされている方々の様子、職員のことなどを質問され、7月3日には入居者様との交流を重点に訪問していただきました。

地域の小中学校の生徒さんとの交流機会を増やし、また福祉教育の一助になればと思います。(渡邊憲)



地域包括支援センターの活動

～さわらび地域包括支援センター～

6月5日、牛川小学校6年生102名に対し、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。今回受講された若き認知症サポーターの皆様の今後の活躍を期待しています。

(白井)

～福祉村地域包括支援センター～

6月8日に天伯校区の避難所開設訓練に参加し、携帯電話のアプリ「ハザードン」を紹介いたしました。ハザードンは予め個人情報を入力しておくことで災害があった時にスムーズに避難所で登録ができるアプリです。災害が多い昨今、今できる防災として登録してみたいかがでしょうか？

(村井)

防災アプリ「Hazardon」

Android



iPhone/iPad



日中のスケジュールを大幅に変更しました

～障害者支援施設 あかね荘～

あかね荘では、週に3回の入浴支援のうち、2回は午後の時間のみで行っていました。しかし、利用者様の重度高齢化に伴いまして、入浴支援に時間がかかるようになってきました。そのため、支援の際に、急かしてしまうこともあり、充実した支援を行うことが難しくなっていました。

そこで、6月から3回の入浴支援を1日かけてゆったりと入浴できるスケジュールに組み替えました。

大幅なスケジュールの変更になりましたので、利用者様だけではなく、職員も戸惑いを見せています。しかし、あかね荘の利用者様は、ますます高齢化していきます。そのため、今後も現状の職員でいかにして充実した支援していけるか、これからも考えていきます。

(杉山)

行事報告

〜軽費老人ホーム若菜荘〜

5月31日、恒例の明日香の田植えに、利用者4名・職員3名で参加しました。慣れた手つきで作業する方、初参加で泥に足を取られて悪戦苦闘の方、見学・応援の方も、梅雨の合間のひとときを楽しく過ごすことができました。（山下）



〜障害者支援施設あかね荘〜

6月6日、13日、18日の3日間に分けて、お楽しみ会としてののんびりパークに行ってきました。13日はご家族も参加されました。

ご家族のなかには、手作りのお弁当を持参され利用者様と召し上がり、ご家族で水入らずの時間を過ごされる方もいらっしゃいました。また、3日間とも天気にも恵まれ、動物

の前で写真を撮った

り、ソフトクリームなどを召し上がった。皆さん思い思いに楽しまれました。（杏名）



〜障害者支援施設 珠藻荘〜

6月17日、6月19日に自治会主催の行事の特別喫茶を行いました。今回は、明日香のシフォンケーキに生クリームやフルーツを散りばめて午後の喫茶の時間に皆で楽しみました。シフォンケーキが食べられない方にはプリンで対応させていただきました。（山田和）



〜特別養護老人ホームさわらび荘〜

6月19日、神藤様に初めてお越しいただき、ギター演奏会を開催しま

した。懐かしの昭和歌謡や童謡などを演奏していただき、皆様も楽しく歌われていました。（渡邊憲）



〜障害福祉サービス事業所 明日香〜

6月28日、豪雨を想定した帰宅困難訓練を行いました。当日は利用者14名ご家族3名が参加しました。停電を想定したライフラインの停止や水道が使えなくなっ

た時のために飲料水の確保・就寝場所の確保などを行いました。利用者様も職員も日々訓練を行い災害時迅速に動けるようにしていきたいと思



（岸）

〜障害福祉サービス事業所 すみれ〜

6月19日、おやつ作りでバウムクーヘンを作りました。ラップの芯にアルミホイルを巻き、生地をつけてホットプレートで焼きました。焼きあがったものに生クリームやチョコレートソースをトッピングし、美味しくいただきました。



6月26日、ブラックサンダーの工場見学に行ってきました。工場では見学通路から製造ラインを見学でき、工程を間近で見ることができました。直営ショップでは限定商品も販売されてお

り、楽しくお買い物することができました。（宮下）



日々彼是

谷さゆり

お祭り騒ぎの後で

先月7月5日は朝4時台という早朝にもかかわらず沢山の人が地学や防災関連の動画サイトでカウントダウンに参加していました。これは漫画「私が見た未来」や香港の風水師がこの日の早朝4時台に日本で巨津波により太平洋側が大きな被害を受けるという「予言」が由来です。実は私も参加しました。というのも前日とても暑くて…多分19時頃には寝てしまい丁度4時ころには目完全に目が覚めてしまいました。一方、気象庁は「地震予知は不可能」との発表を行いました。日本で大災害が起こる日として海外から日本への航空便の減便や運休などインバウンド需要が激減し経済的損失は5,600億円を超え、災害に備えて非常食やポータブル電源などの防災グッズの売り上げが増加したとのことです。備えあれば憂いなし、あらかじめ準備をするのは大切なことだと思えます。ただ必要量や保管方法などきちんと調べておかないと大変なことになります。以前も書いたのですが揮

発してしまう固形アルコール燃料を大量に買い込んでしまい、揮発しないように冷凍庫で保存していました。また在庫処理と称してせっせと料理で使っていたのですが火力が強くて暑すぎる…結局使いきれず夏の間は使用中止。冷凍庫に鎮座していた固形アルコール燃料は冷蔵庫に入れ替えましたが庫内半分を占拠中です。そこで適量の備蓄を考えようと防災科学研究所の「地震10秒診断」で地震の際必要となってくる備蓄量を調べました。福祉村のある豊橋市野依町で調べると…30年以内に起こる地震予測は震度6強・発生確率35%・停電日数6日・ガス停止日数14日・断水日数51日…え？51日！思わず二度見してしまいました。一日一人に必要な水は3リットルと言われていますので職場で被災すると3×51＝153リットル！2リットルのペットボトル約77本分です。それに追加して手を洗ったり体を拭いたりする生活用水は含まれていませんので、生活用水は1日10リットルともいわれていますので最低でも510リットルは必要となる計算です。重量として510kg、車載は到底無理です。飲用ペットボトルなら半分くらいは何とかなるかも。今のうちに必要な備蓄量と備蓄方法を考えたいと思います。



▲地震10秒診断 | もしもあなたの街で地震がおこると…?

Vol.128 relay column さわらび会のわ

あかね荘
障害者生活支援センター
木村 冬美



私は子供の頃から犬が大好きです。その頃は団地住まいで、犬を飼うことはできませんでしたが、近所で大型の洋犬を2〜3頭飼っている家があり、家の前を通って犬たちを見て楽しんでいました。

大人になり、犬が飼える環境に変わり、縁あって生まれたばかりの子犬をもらいました。雑種のメスで名前は華です。念願がかなって嬉しかったのですが、大変大人しい子犬で寝てばかり。自分がイメージしていた子犬とは違っていたことがわかりました。今思えばお母さんから離されて、知らない人と慣れない環境で戸惑っていたのだらうと思います。警戒心の強い子で、17歳で亡くなるまで呼び鈴の替わりになり、家族を支えてくれました。

2番目の犬はオスのアメリカンコッカーで、黒い毛色から黒と名付けました。のんき者でマイペース、誰にでもフレンドリーで牙をむいて怒る顔を二度も見ることがない、そんな素晴らしい人柄？の犬でした。元々病気が多く、13歳で旅立っていきました。

今は3番目のメスの雑種犬のたびを迎え、我が家の犬で最も賢い彼女を相手に奮闘中です。犬との生活では我慢や制約が多いですが、信頼感に満ちた真っ直ぐな目で、じつと人間を見ている犬が私は大好きです。

私の仕事

障害者支援施設 珠藻荘 生活支援員

ワイディア メルデインタ

出身 ● インドネシア ジャワ島

西ジャワ州 ボゴール市

学歴 ● SMK KESHAJIAN CITRA HUSDA

中部福祉保育医療専門学校



初めまして、私は障害者支援施設 珠藻荘の生活支援員メルです。インドネシアの西ジャワ州のボゴール市からまいりました。

ボゴールの市は、首都ジャカルタの南約60kmに位置しており、「雨の町」として知られ一年を通して降水量が多く、周辺の大都市と比べると比較的涼しい気候が特徴です。

今回は、インドネシアのボゴールの名物料理「ボゴールのアシナン」をご紹介します。

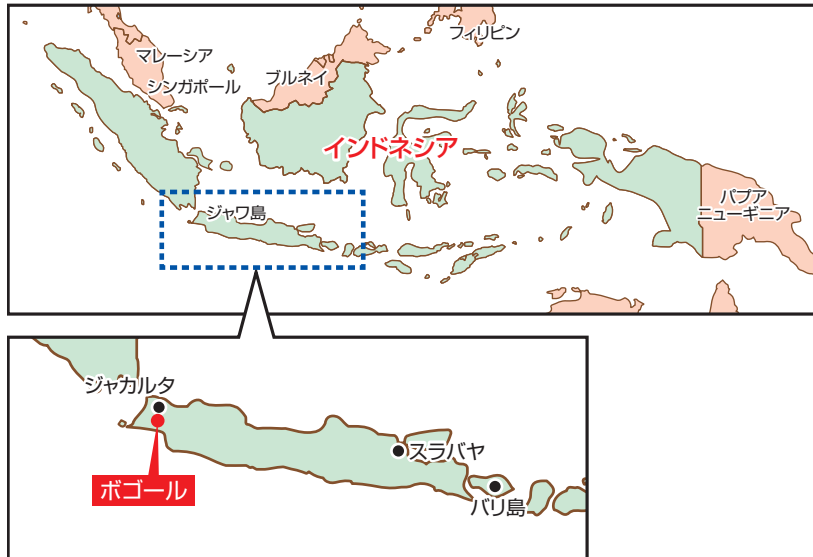
ボゴールは自然にも恵まれており、特に果物や野菜などの農産物が豊富です。



オランダ植民地時代から、涼しい気候と肥沃な土壌のおかげで、ボゴールは果物や野菜の産地として知られてきました。農産物が豊富なため、地元の人々は収穫物を保存する方法を工夫し、その一つとして「塩漬け」にする方法が生まれ、このような背景から「ボゴールのアシナン」が生まれました。この料理の最大の特徴は、赤いスープにあります。チリ、砂糖、酢を使ったスープは、甘酸っぱくて少し辛い味が特徴です。「ボゴールのアシナン」は他のアシナンとは一線を画しています。

具材としては、ケドンドン（熱帯フルーツの一つ）、ブンコアン（南国フルーツで日本のクズイモ）、パイナップル、グアバ、キュウリ、キャベツの千切りなどの

インドネシア 西ジャワ州周辺の主要都市



新鮮な果物や野菜が使われています。さらに、揚げたピーナッツや黄色い麺のクラッカーがトッピングされ、味や食感にアクセントを加えています。「ボゴールのアシナン」は、20世紀初頭から家庭料理として親しまれ、伝統的な市場などで販売されてきました。1970年代になると、一部の販売者が「アシナン・ボゴール」をお土産としてパッケージ化し始め、その人気はさらに広がっていきまじ。現在では、ボゴールのローカルフードとしてだけでなく、「雨の町」の象徴的なグルメおよび名産品として広く知られるようになっていきます。インドネシアのボゴールを訪れる機会があれば、是非この「ボゴールのアシナン」を味わってみてください。



第135回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

福祉村病院 管理栄養士 宮下 遥花

残暑が続く日差しが強く感じる時期になりました。暑い日が続くと秋の涼しさが待ち遠しくなります。

さて、毎年この時期になると食欲がなくなりませんか。これは、暑さによる体力の消耗で疲労感やだるさの原因になったり、冷たい飲み物の摂り過ぎによる自立神経の乱れ、暑さで胃腸の働きが弱まることの影響です。

まず、体の基となるたんぱく質、エネルギー生成に欠かせないビタミンB1が重要です。

そこで夏バテ対策食欲増進メニューを紹介したいと思います。その料理の一つが酢豚です。豚肉にはたんぱく質、ビタミンB1が豊富で体力の回復が期待できます。玉ねぎには疲労回復の効果があるアリシンが含まれています。アリシンにはビタミンB1の吸収も助けてくれる働きがあります。またお酢の酸味は唾液や胃液の分泌を促し食欲を刺激するため食欲の回復につながります。

しっかりとごはんを食べてエネルギーチャージし、暑い夏を乗り越えましょう。



さわらび会後援会寄附ご芳名

令和7年6月6日～令和7年7月5日

豊橋市野依町字西物草 1 2 家具の街ヨコモブランド 10,000 円

豊橋市入舟町 2 1 (株)三恵薬品 10,000 円

豊橋市駅前大通一丁目 5 5 サラエナジー株式会社 10,000 円
サラータワー

新城市南畑 7 4 光田屋(株) 10,000 円

匿名氏 1,000 円

たくさんのご寄付ありがとうございました。
計 **41,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
902,402,561円

●福祉用具紹介のコーナー

「スタンディ」

折りたたみ可能な面がついている手すりです。面を支えるので安心して使用でき、スリット付きなのでしっかり握れます。面は使わない時には折りたたむため有効にスペースが使える、玄関やベッドサイド、布団からの立ち上がりなど様々なシーンで利用できます。

(たまも荘障害者生活支援センター 鳥居)



販売価格:77,000円
※介護保険レンタル対象商品

問い合わせ先 福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

福祉作文コンクール 作品募集

応募期間:2025年7月21日(月)～8月31日(日)必着

応募対象:小学生・中学生

内容:日々の生活の中での様々な経験や、ご家族などの身近な体験、ボランティア活動などを通して感じたことや思いを表現した作文

応募規定:400字～1200字(原稿用紙3枚以内)

※題名・住所・氏名・学校名・学年・電話番号・連絡先メールアドレスを明記

応募方法:郵送またはE-mail

応募先:社会福祉法人さわらび会 障害者支援施設
あかね荘
〒441-8124 豊橋市野依町字山中19-12
E-mail akane-shien@sawarabi.or.jp

問い合わせ先

あかね荘 TEL(0532)48-2825

豊丘高等学校インターンシップの受け入れ ～特別養護老人ホームカサブランカ～

5月20日、6月3日、6月24日、7月8日の4日間、3名の生徒がインターンシップにてカサブランカに来荘しました。(塩見)

小麦の奴隷アートスペースでの作品展示 ～障害者支援施設 珠藻荘～

利用者の稲垣ひとみ様の絵織りの作品展示を7月25日までアートスペースで行いました。

今後も様々な作品を展示してまいります。(岩水)



地域交流の活発化 ～グループホーム フジ～



フジでは、地域の方と一緒にタオルで雑巾を縫い上げ、100枚できあがったら近くの新川小学校へお届けする「ちくちくハンド」という活動を行っていましたが、2021年から新型コロナウイルス感染症にて活動を休止していました。

今回、地域の方の要望もあり6月16日から活動を再開いたしました。材料となるタオルも、地域の方々の長年にわたる寄付によって支えられています。

また、フジでは毎月第3土曜日または第4土曜日に子ども食堂を開催しています。周辺地域のお子さんを中心に、食事や遊びを提供しています。次回は8月23日11時～15時の予定です。(塩見)

- 福祉村病院
☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠
☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤
☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
ケアハウス カサ デ ローザ
☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ プランカ
☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デ ヴェルデ
☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天白
☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ
☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘
☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
☎(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター
☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町
☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村
☎(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ
☎(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム
☎(0532)29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之

編集後記

激動の7月でした。先ずは参議院選挙で当選された議員の皆様おめでとうございませう。今まで絶対多数を誇っていた与党が大幅に議席を失い少数野党となりました。なかでも国民民主党と参政党の躍進が目立ちます。石破首相の動向も気になります。いずれにせよ国民がより暮らしやすい国となるよう期待しています。また豊橋市では初めての住民投票が行われ新アリーナ建設が決まりました。こちらもまた数多くの課題が残されています。市議会でもしっかりと議論を深めこれ以上市民の分断が進まないことを祈っています。6月に始まった鹿児島県十島村、トカラ列島での群発地震では酪農家を除く一部島民が島外避難を行うまでの被害となりました。また桜島や霧島の新燃岳の噴火による火山灰降灰の被害、台風や熱帯低気圧による大雨や線状降水帯の発生で愛知県でも道路の冠水や床上浸水などがありました。被害に遭われた皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。(谷)